

ASO MEDICAL

News

—阿蘇医療センター広報誌—

Vol. **24**
January
2026

ご自由にお持ちください



CONTENTS

- 2 事業管理者挨拶
- 3 新任医師紹介・静脈瘤外来
- 4-5 診療体制
- 6-7-8 当院の取り組み

事業管理者挨拶

阿蘇市病院事業管理者
阿蘇医療センター 院長

甲斐 豊



昨年暮れに、2025年度補正予算が成立(12/16)し、診療報酬の改定率は全体で3.09%のプラスで決着しました。補正予算の医療分野では、医療・介護等支援パッケージとして賃上げ・物価高対策のほか、医療・介護の体制確保、DXの推進等々に関して補助金として盛り込まれました。今年度内に交付要綱に基づいて申請手続きをとることになると思われます。経営悪化が深刻な多くの医療機関・介護施設等の当面の救済策となることが期待されます。

ただ、補正予算による今回の措置は緊急避難的な性格で、恒久的社会資本である医療分野の安定的維持を保障するというものではなく、予算額は診療報酬引上げ分を先行して措置された部分もあります。医療機関の運営の安定性を担保するためには、これらの内容は、本来は診療報酬体系の仕組みの中で処置されることが望ましいと思われます。

診療報酬の改定率は、補正措置分を加えたとしても各医療関係団体が要望していたものとは開きがあります。個々の改定内容はこれから明らかになりますが、劇的に収支が好転するかは見通せないところです。昨年来メディアでは医療機関の経営悪化に関する情報で溢れていますが、現在の経済情勢では診療報酬が一定程度プラス改定されても、現場の不安定感払拭されないように思います。

医療分野に限りませんが、経営悪化と連動して人材不足が重要課題となっています。

生産年齢人口の減少は、団塊ジュニアが50代後半

になる2030年頃から急速に加速するとされ、並行して医療職種の人材不足も更に進むことになります。一方で85歳以上の高齢者は2040年頃まで増加し、医療・介護のニーズは高まってきます。

人材不足は今後更に深刻になりますが、医療現場は働き方改革と並行して労務環境改善を進める必要もあり、DX化やAI活用による業務効率化は必須のことになりそうです。

IT環境の整備には相当の経費を要しますが、各種の機械的業務はAIの活用を図るなど人材不足に対処していく必要があります。国は医療DX化を政策として推進するとしていますので、IT環境を整備し関連のツールを導入した業務事項に対応する診療報酬算定に係る施設基準等は、その整備状況に応じて算定要件を緩和および簡素化することを同時に進めるべきと思います。DX化等に伴う経費(維持費等を含む)と人件費との置き換えが実現しなければ、人材不足と人件費負担増の問題は解決されません。また、AI導入が各医療現場で個別的に活用されているだけでは効果は限定的です。更に、現行制度の2年ごとの診療報酬改定で、実装した各モデルの改造を繰り返すのも非効率です。医療DX化の推進を加速させるには診療報酬算定構造の最適化が必要だと思います。

本年も、阿蘇圏域の拠点病院として、地域の医療・介護に関する諸課題に取り組んでまいります。一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新任医師紹介



消化器外科
医員

ほりの たいち
堀野 大智

■ 専門領域・資格

消化器外科学会認定、消化器外科全般、医学博士、日本専門医機構認定／外科専門医、日本消化器外科専門医、消化器がん外科治療専門医、日本消化器病学会認定／消化器病専門医、日本がん治療認定医機構／がん治療認定医

令和7年10月より阿蘇医療センターに着任致しました、堀野 大智(平成29年卒)と申します。これまで熊本大学消化器外科および関連施設で修練の後、大学院において消化管癌に関する臨床・基礎研究を経験して参りました。

消化器外科医の減少が全国的な課題として認識されつつある昨今ですが、熊本大学消化器外科なら

びに関連施設との間で積極的に連携し、少子高齢化・人口減少に先駆けて直面する阿蘇地域における持続可能な消化器外科診療体制の構築に努めます。消化器外科のみならず一般外科、臨床腫瘍科医として、阿蘇地域の地域医療に少しでも貢献できるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



心臓血管外科
医員

なかた こうすけ
中田 浩介

■ 専門領域・資格

専門分野 /心臓血管外科一般、日本外科学会専門医、腹部ステントグラフト実施医・指導医、胸部ステントグラフト実施医

「足が浮腫む」「足の筋肉がつる」「血管がぼこぼこ膨らんで気になる」こういった症状を訴える方は、もしかすると、下肢静脈瘤かもしれません。

下肢静脈瘤は、静脈の弁がうまく機能しなくなることによって血液が逆流し、血管がコブ(瘤)のように膨らむ病気です。良性疾患ではありますが、「だるさ」「むくみ」「こむら返り」などの症状や、見た目の変化により生活の質(QOL)を低下させることがあります。長時間の立ち仕事や妊娠・出産などに関係していることが多く、幅広い年代にみられます。

従来より、弾性ストッキング着用などによる保存的治療や、静脈を切除・抜去する外科的治療(高位結紮術、ストリッピング手術)などが行われてきました。近年では、治療技術の進歩によって低侵襲な方法も選択肢として広がり、より患者さんの状態や希望に応じた治療が可能となっています。

こうした地域のニーズにお応えするため、当院では2025年8月より「下肢静脈瘤外来」を開設し、診療を

開始いたしました。

当外来では、患者さんの症状や生活背景を丁寧に伺い、保存的治療を中心に必要に応じて手術加療が必要かどうかを判断しています。ひとりひとりに十分な診察時間を確保し、最適な治療方針を提案できるよう、外来は完全予約制とさせていただいております。

現在、当院では施設基準の関係により血管内焼灼術(レーザー・ラジオ波)を実施しておりませんが、ご希望の場合は当院と連携する関連施設で治療を受けていただける体制を整えております。

「むくみが続く」「足が重い」「血管が浮き出てきた」などの症状を訴える患者さんがおられましたら、ぜひ当院静脈瘤外来へご相談ください。

また、当院では静脈疾患のみならず、動脈瘤、弁膜症、虚血性心疾患などの心臓血管外科領域の疾患についても専門外来にて診療を行っております。手術に関するご相談も随時承っておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

静脈瘤外来開設

阿蘇医療センター 診療体制



午前／受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)
午後／受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	湯本 信也 森脇 健次	宮崎 蒼	湯本 信也 宮崎 蒼	森脇 健次 山本 文夫	湯本 信也 森脇 健次	—
	午後	休	湯本 信也 (在宅酸素療法外来のみ)	休	休	休	—
脳神経外科	午前	甲斐 豊	山村 理仁	休	甲斐 豊	山村 理仁	—
循環器内科	午前	山田 敏寛	山田 敏寛	藤末 昂一郎	藤末 昂一郎	東 隆大 (熊大病院)	—
	午後	山田 敏寛 (睡眠時無呼吸症候群外来のみ14:00～16:00)※1	休	休	休	休	—
脳神経内科	午前	休	山本 文夫	松原崇一郎 ※2 (熊大病院)	山本 文夫	休	—
	午後	休	休	松原崇一郎 ※2 (熊大病院)	休	休	—
整形外科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	湯上 正樹 (熊大病院)	休	—
	午後	休	休	休	湯上 正樹 (熊大病院)	休	—
消化器外科	午前	休	堀野 大智 近本 亮 (第2水曜の前日) (熊大病院)	近本 亮 (第2水曜を除く) (熊大病院)	堀野 大智	休	—
心臓血管外科	午前	休	中田 浩介	休	休	休	—
静脈瘤外来	午後	休	中田 浩介	休	休	休	—
リウマチ 膠原病内科	午前	休	休	中村 正 (第4水曜) (桜十字病院)	休	休	—
	午後	休	休	中村 正 (第4水曜) (桜十字病院)	休	休	—
乳腺内分泌 外科	午前	岩瀬 弘敬 (月2回指定日) (熊本市民病院)	休	休	休	休	—
	午後	岩瀬 弘敬 (月2回指定日)～15:00 (熊本市民病院)	休	休	休	休	—
糖尿病・代謝 内分泌内科	午前	休	近藤 龍也	休	近藤 龍也	井形 元維 (熊大病院)	—
	午後	休	休	休	近藤 龍也	井形 元維 (熊大病院)	—
血液内科	午後	宮川 寿一 (第2月曜) (くまもと森都総合病院)	休	休	休	休	—
腫瘍内科	午後	休	休	休	境 健爾 (第1・3木曜)(12:30～15:00) (熊本医療センター)	休	—
消化器内科	午前	具嶋 亮介 (11:00～) (熊大病院)	休	岩崎 肇 (11:00～) (熊大病院)	休	檜原 哲史 (肝疾患) (熊大病院)	—
	午後	具嶋 亮介 (13:00～) (熊大病院)	休	岩崎 肇 (13:00～) (熊大病院)	休	檜原 哲史 (肝疾患) (熊大病院)	—
呼吸器内科	午前	休	宮崎 蒼 坂田 晋也 (9:30～)(熊大病院)	宮崎 蒼	休	宮崎 蒼	—

○予約センター 平日 8:30~11:00・14:00~17:00 ☎0967-34-0319

■一部の専門外来を除いて午前中のみ診療になります。緊急時は救急外来で対応いたします。

■当院は、予約診療（原則）です。電話予約の上の来院をお願いします。

令和8年1月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
腎臓内科	午前	休	休	休	休	濱口 亜実	—
	午後	休	休	濱口 亜実 (新患のみ)	休	濱口 亜実 (透析予防外来)	—
耳鼻咽喉科	午前	休	休	休	眞方 洋明 (熊大病院)	休	—
泌尿器科	午前	松原 顕太	休	休	休	休	—
	午後	休	休	休	松原 顕太 (再診のみ) (第4木曜を除く)	休	—
婦人科	午前	休	休	休	休	片渕 秀隆 (第2・4)	—
	午後	休	休	休	休	片渕 秀隆 (第2・4) 13:00~16:00	—
皮膚科	午前	休	休	山村 修司 (熊大病院)	柏田 香代 (熊大病院)	休	—
	午後	休	休	山村 修司 (~16:00) (熊大病院)	柏田 香代 (~16:00) (熊大病院)	休	—
神経精神科	午後	休	休	松本 武士(第1) (希望ヶ丘病院) 杉本 啓介(第3) (希望ヶ丘病院)	休	休	—
歯科口腔外科	午前	休	高宗 康隆 ※3	高宗 康隆 (再診のみ)	休	高宗 康隆 ※3	—
	午後	休	高宗 康隆 ※3	休	休	高宗 康隆 ※3	—
小児科 専門外来	午前	休	休	上土井貴子 (第2・4水曜) ※4	休	休	—
	午後	休	休	上土井貴子 (第2・4水曜) ※4	休	休	—
人工透析	午前	濱口 亜実	湯本 信也	濱口 亜実	濱口 亜実	熊大病院腎臓内科	熊大病院腎臓内科

※1 受付時間13:00~15:30(診療時間14:00~16:00)

※2 予約制です。前日17:15までに予約のお電話をお願い致します。

※3 予約制です。また、紹介状(かかりつけの歯科医院等から発行していただく。)をお持ちでない患者さんは受診できません。

※4 原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生までの受入れ。

総合診療	午前	山本 文夫	中田 浩介	井 清司	尾崎 眞史	佐土原 道人	—
------	----	-------	-------	------	-------	--------	---

※ご来院時に患者さんの症状に対応できる診療科の診療が行われていない場合にご案内致します。

小児外来 午前 受付時間 8:30~11:30(診療時間 9:00~12:00)
午後 受付時間 13:00~18:00(診療時間 14:00~18:15)

小児科	午前	木下 万莉	橋山 元浩	橋山 元浩	木下 万莉	橋山 元浩	—
	午後	木下 万莉	橋山 元浩	橋山 元浩	木下 万莉	橋山 元浩	—

市民公開講座・健康フェスタ

令和7年8月2日(土)に市民公開講座と健康フェスタを開催しました。
市民公開講座は講堂で行われ、「糖尿病の新しい話題～血糖値だけでは不十分?～」の演題で、当院の近藤龍也医師から講演があり、約50名の市民の皆様にご聴講いただきました。

引き続きエントランスホールにおいて、健康フェスタが開催されました。健康相談・体験、運動測定、お薬相談などのブースが開設され、当院の医療専門職がそれぞれ対応しました。同フェスタでは約90名の来場がありました。



院内職員研究発表会

令和7年8月2日(土)に毎年恒例の職員研究発表会を開催しました。

今回は、理学療法士、事務部職員、看護師(5名)、診療放射線技師の8名の職員から発表がありました。審査の結果、最優秀賞を藤原 恭一、優秀賞を中山彩香、池田 隆が受賞しました。入賞した3名は、10月25日(土)開催の第29回熊本県国保地域医療学会で当院を代表して発表を行いました。

発表内容

- ・阿蘇医療センター整形外科・リハビリテーション室
出前講座の取り組みについて 理学療法士：池田 隆
- ・見えない仲間RPA ～私たちの仕事、自動化プロジェクト～ 事務：藤原 恭一
- ・多職種での退院支援と看護師の役割について
～筋ジストロフィー患者の一事例からの学び～ 看護師：長町 美華
- ・ストレッチャー背上げ時の患者の姿勢の崩れを防ぐ工夫を行って
～滑り止めマットの効果検証～ 看護師：本田 有美
- ・診療放射線技師によるタスク・シフトの現状と課題
～静脈注射研修から実際の手技を経験して～ 診療放射線技師：岩尾 拓磨
- ・感染対策室への相談内容から分析した今後の課題 看護師：高橋 哲
- ・アドバンス・ケア・プランニングの実践における
医療従事者の困難感に関する文献検討 看護師：飯野 祥之
- ・CGM 導入に伴う看護師の対応と意識の実態調査
～現場の課題と今後の支援に向けて～ 看護師：中山 彩香

第29回 熊本県国保地域医療学会

第29回 熊本県国保地域医療学会が令和7年10月25日(土)9:30からグランメッセ熊本で開催されました。

研究発表会では、公立病院・自治体・施設の11機関の医師をはじめ医療多職種から、35題のテーマに沿って発表が行われました。また特別講演会では、「心不全患者に対する多職種による包括的介入が 再入院率を

低下させた」の演題で、上天草市立上天草総合病院 院長 脇田 富雄先生による講演がありました。

研究発表会では当院からも3名が発表を行い、学会終了後の審査の結果、当院の事務部職員 藤原恭一係長が優秀者として選定されました。

阿蘇医療センター連携の会

令和7年10月24日(金)に、阿蘇市内のホテルで『第7回阿蘇医療センター連携の会』を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、近年は講演会のみで開催していましたが、今回は意見交換の場を設けた開催となりました。阿蘇圏域の関係機関から多数の参加をいただき、盛会裏に行うことができました。

講演会のプログラムでは、「パーキンソン病と類縁疾患」をテーマに当院の脳神経内科部長の山本文夫医師から、パーキンソン病に関する説明をはじめ、早期発見と医療・介護・福祉の連携と役割の重要性について講演が行われました。



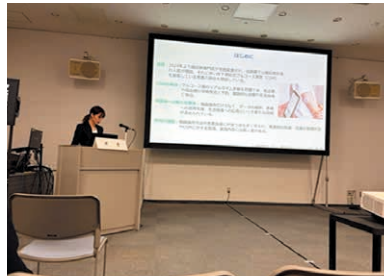
第63回日本糖尿病学会九州地方会に参加

令和7年10月31日(金)、11月1日(土)に、第63回日本糖尿病学会九州地方会が小倉で開催されました。

当院から、看護職からは初めての参加で中山彩香看護師が「CGM導入に伴う看護師の対応と意識の実態調査」のテーマで発表しました。反響が大きく発

表後にも質疑応答が相次ぎました。

シンポジウムでは、近藤龍也医師が「MASLDの疫学と予後」、一般演題で「糖尿病透析予防・慢性腎臓病透析予防の新規導入」を発表し、ワークショップでは、井形元維医師が「糖尿病腎症を防ぐには?:熊本における現状と展望」の演題で発表を行いました。

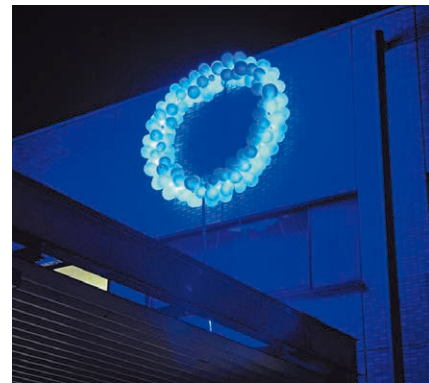


World Diabetes Day活動:ブルーサークルをライトアップ

令和7年11月14日は世界糖尿病デー(World Diabetes Day)でした。

この日のキャンペーンでは「ブルーサークル」という青い円が使われます。患者様や家族の方々・医療機関そして広く社会の連帯を象徴しており、糖尿病予防の啓発に用いられています。

当院でも、職員の協力で150個の風船を使い直径3メートルのサークルを拵え、建物北側壁面に備え付けてライトアップしました。青く輝くブルーサークルが鮮やかに映えました。



MRI更新

令和7年10月初旬にMRI1.5テスラ(磁気共鳴画像診断装置)の入れ替えを行い、10月21日から運用を開始しました。

【新しいMRIの特徴とメリット】

今回のMRI装置の更新により、以下のようなメリットが期待されます。

◇より高精度な診断

従来機よりも高い解像度の画像が得られるようになり、病変の早期発見やより詳細な診断が可能になります。

◇検査時間の短縮

最新技術により、検査時間が短縮され、患者様の負担軽減につながります。

◇広範な検査対応

頭部、脊椎、腹部、骨盤、四肢などの全身の検査に対応し、特に循環器系(心臓・血管)や神経系の検査能力が向上しています。

当院では、この新しいMRI装置を活用し、医療の質向上に努めてまいります。



阿蘇医療センタークリスマスコンサート

令和7年12月21日(日)11時から、当院の正面玄関エントランスホールでクリスマスコンサートが開催され、熊本ユースシンフォニーオーケストラ(KYO) 58名のフル奏者による演奏会が行われました。

今回は、クリスマスに因んだ7曲が演奏され、来場の患者さんや市民(約200人)の皆様には、管楽器・弦楽器・打楽器が奏でる迫力のコンサートを楽しんでいただきました。

KYOは1964(S39)年に設立され今年で創立60周年。県内の小学生から29歳まで約70名が在籍し、国内外での幅広い活動を通して地域文化の向上に貢献している若手奏者の団体です。



がんサロン

令和7年12月21日(日)、阿蘇医療センター内で今年度5回目の阿蘇がんサロン“笑がお”が開催されました。今回のがんサロンは初めて参加された方ばかりでしたが、スノードームを作りながら、今年一年を振り返ったり近況を話合うなど交流を深めていただきました。また、サロン終了後には当日開催されましたクリスマスコンサート会場に移り、来場者と共に演奏を楽しんでもらいました。

次回のがんサロン“笑がお”は2月18日を予定しています。当院の歯科口腔外科の高宗医師によるミニ講話を行います。

予約不要で参加費無料です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



診療予約・変更・お問い合わせ

- 外来予約センターにお電話頂き、予約や変更等についてお問い合わせください。

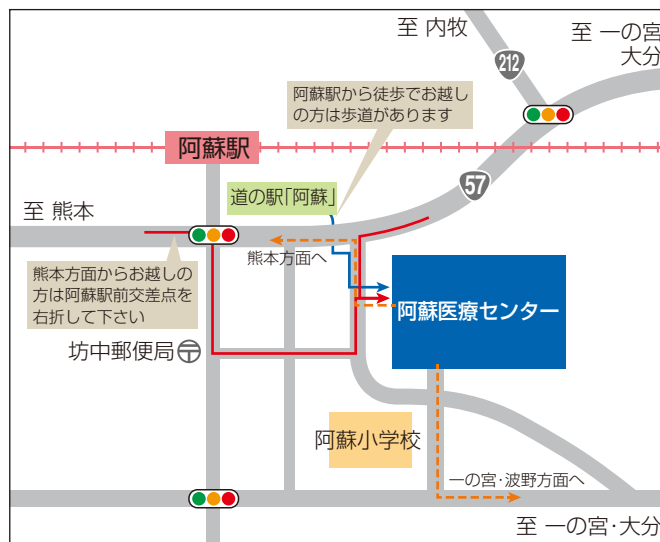
外来予約センター

(平日 8:30~11:00) ☎ **0967-34-0319**
(14:00~17:00)

- その他、診療や連携に関する各種お問い合わせや、相談は地域医療連携室へご連絡ください。

地域医療連携室

(平日 8:30~17:15) ☎ **0967-34-0463**



阿蘇医療センター
ASO Medical Center

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266
TEL:0967-34-0311(代表) FAX:0967-34-2273
<https://aso-mc.jp/>

